

よくある質問(バリアフリー関係) Q&A 目次

- Q 1 [バリアフリーとはどのような意味ですか？](#)
- Q 2 [ユニバーサルデザインとはどのような意味ですか？](#)
- Q 3 [バリアフリー化の意義とは？](#)
- Q 4 [街中で見かける点字ブロックについて教えてください。](#)
- Q 5 [街中で見かけるヘルプマークについて教えてください。](#)
- Q 6 [「心のバリアフリー」について教えてください。](#)
- Q 7 [運輸局で開催しているバリアフリー教室とはどのような催しですか？また、自分の学校でも開催してもらえますか？](#)

Q 1 バリアフリーとはどのような意味ですか？

バリアフリーとは、高齢者や障害者等を含む多様な人が生活していく上で障壁(バリア)となるものを除去(フリー)するという意味で、物理的、社会的、制度的、心理的、情報面など、さまざまな障壁がバリアフリーの対象となります。

(政府広告)

多様な人が社会に参加する上での障壁（バリア）をなくすことです。多様な人たちのことが考慮されていない社会は、心身機能に障害がある人などにとって様々なバリアを生み出しています。

Q 2 ユニバーサルデザインとはどのような意味ですか？

ユニバーサルデザインとは、年齢、性別、国籍、個人の能力にかかわらず、できるだけ多くの人が利用可能なように、利用者本人、人間本位の考え方に立ったデザインを意味しています。

(総務省)

あらかじめ、障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境などデザインする考え方を意味します。

Q 3 バリアフリー化の意義とは？

高齢者や障害者等が自立した日常生活、社会生活を営むことができる社会を実現することにあります。バリアフリー化を進めるにあたっては、高齢者や障害者等の意見反映が重要です。また、バリアフリー化促進のため、いわゆる「心のバリアフリー」について国民の理解を深め、国民の協力を求めることも重要です。

Q 4 街中で見かける点字ブロックについて教えてください。

正式名称は「視覚障害者誘導用ブロック」といいます。目の不自由な人に、より正確な歩行位置と歩行方向を案内するためのもので、安全な道すじを示す「誘導ブロック」と一時停止や注意を促す「警告ブロック」のほか、駅のホームなどの端を知らせる「内方線付き警告ブロック」があります。以前は、舗装材のデザインにあわせたものなど、さまざまな種類の誘導用ブロックが存在しましたが、2001年にJIS規格が定められ、突起の形状、寸法、配列などが統一されました。誘導用ブロックの色は原則として黄色とされています。

(日本視覚障害者団体連合)

正式名称を「視覚障害者誘導用ブロック」といいます。視覚障害者が足裏の触覚で認識できるよう、突起を表面につけたもので、視覚障害者を安全に誘導するために地面や床面に敷設されているブロック（プレート）のことです。

歩道・鉄道駅・公共施設だけでなく、民間の商店の出入り口近くなど、広く設置が進んでいます。また、「エスコートゾーン」という、形状は異なりますが、車道の横断歩道部分にもブロックの設置が進んでいます。

2001年（平成13年）にJIS規格が定められ、突起の形状・寸法及びその配列が統一されました。誘導用ブロックの色は、路面や床面と区別しやすく、視力が低下している人にも認識しやすいように原則として黄色とされています。

また、2012年（平成24年）、点字ブロックの国際規格は、日本のJISを基に定められ、現在では多くの国に広がっています。

Q 5 街中で見かけるヘルプマークについて教えてください。

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または、妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない方について、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助が得やすくなるよう東京都が作成したマークです。平成29年7月にはJISの案内用図記号に採用され、全国に普及が進んでいます。

Q 6 「心のバリアフリー」について教えてください。

様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うことです。「心のバリアフリー」を体現するためのポイントは、「ユニバーサルデザイン2020行動計画」では、以下の3点とされています。

- ①障害のある人への社会的障壁を取り除くのは社会の責務であるという「障害の社会モデル」を理解すること。
- ②障害のある人（及びその家族）への差別（不当な差別的取扱い及び合理的配慮の不提供）を行わないように徹底すること。
- ③自分とは異なる条件を持つ多様な他者とコミュニケーションを取る力を養い、すべての人が抱え

る困難や痛みを想像し共感する力を培うこと。

Q 7 運輸局で開催しているバリアフリー教室とはどのような催しですか？また、自分の学校でも開催してもらえますか？

中部運輸局では、高齢者や障害者等、移動に様々な困難を抱える方が、安心して公共交通機関等を利用し、自立した社会生活を送ることができる環境づくりの一環として、国民一人ひとりがバリアフリーへの理解を深め、快く手助けをできる「心のバリアフリー」社会の実現を目指してバリアフリー教室を開催しています。

開催のご希望については、共生社会推進課又は各県を管轄する運輸支局へご確認ください。